



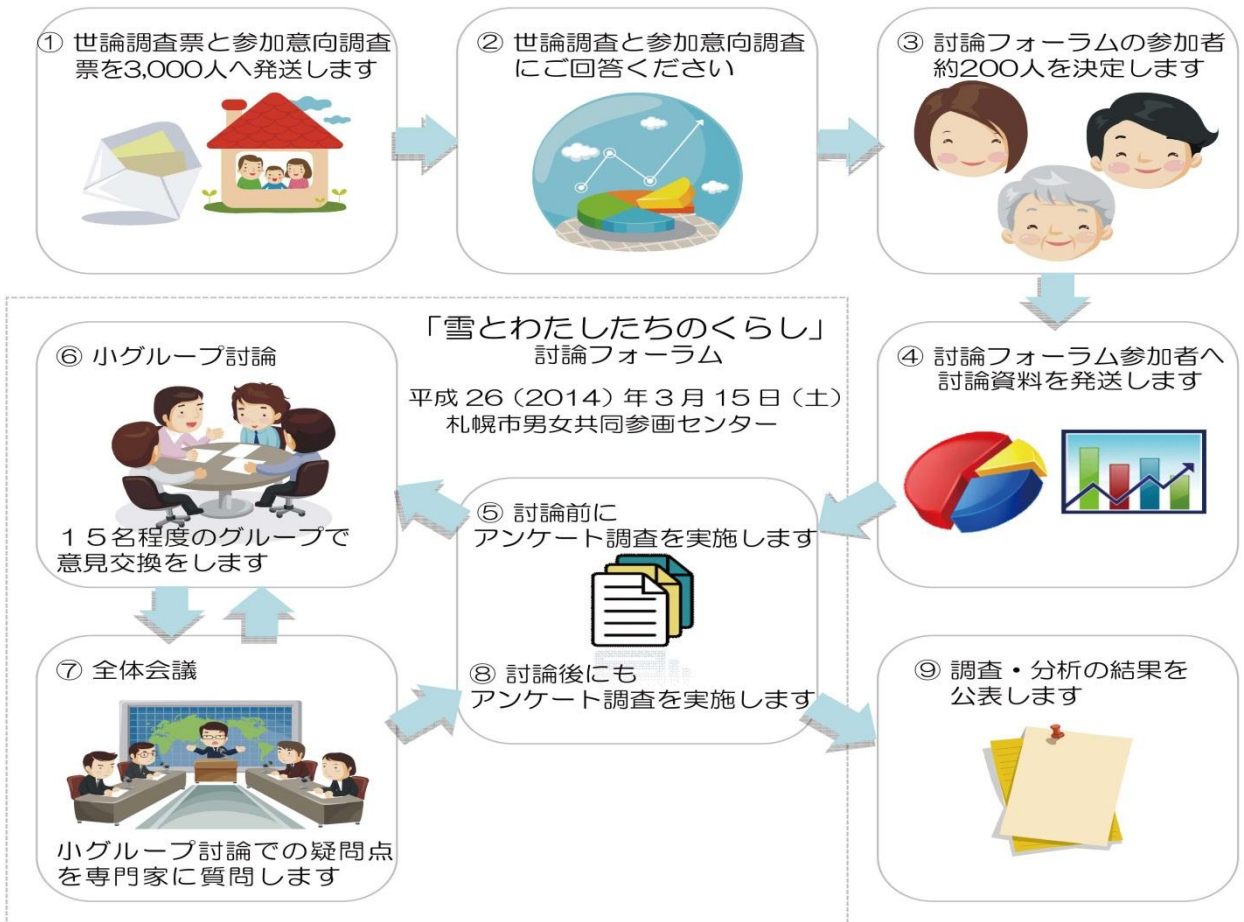
討論型世論調査(DP)とは…

世論調査 + 討論フォーラム

2つから構成される社会調査のことです。

討論型世論調査(Deliberative Poll:DP)とは、「世論調査」と「討論フォーラム」の2つから構成される社会調査の方法です。アメリカのスタンフォード大学の研究者らが開発し、世界中で行われています。わが国でも、これまでに6回行われました(北海道内では2回目です)。

討論フォーラムでは、小さなグループに分かれて他の参加者と話し合う「小グループ討論」と、グループでの疑問点を専門家に質問する「全体会議」を行います。小グループ討論では、参加者が自由に発言できるように、司会者が進行を担当します。討論の開始前と終了後にアンケート調査を行い、討論過程前後の意見の変化を調査します。



★討論型世論調査の実施主体

今回の討論型世論調査は、札幌市と慶應義塾大学DP研究センター(代表:曾根泰教 慶應義塾大学教授)とが共同で行います。DP研究センターは、これまでに、自治体と連携した討論型世論調査や、日本全国の有権者を対象にした討論型世論調査を4回実施してきました。政府(内閣官房)からの受託でDP研究センターが全国民を対象に行った討論型世論調査の結果は、平成24(2012)年の国のエネルギー政策の策定の参考にされました。